

送り状発行時間が1/4に短縮！
荷札貼間違いによる誤出荷0件を実現！

株式会社ササガワ 配送センター様

配送センター外観



企業データ

株式会社 ササガワ  タカ印紙製品

- 本社 大阪府中央区南船場1-16-29
- 業種 紙製品の製造販売（タカ印）
- 資本金 5,000万円
- 従業員数 115名
- 創業 1894年（明治27年）
- 設立 1928年11月（昭和3年）
- 代表取締役社長 笹川敦司
- URL <http://www.taka.co.jp>

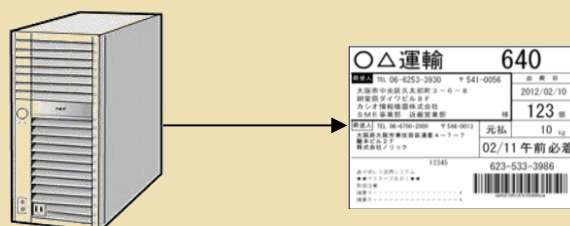
導入の経緯

ササガワ様では5項目の業務改善を考えておられました。

- ① 送り状レス非対応の運送会社を送り状レス化する
出荷件数の80%を占める主要運送便5社のうち、
2社は既に送り状レス化を実現しているが、残り
3社も送り状レス化を実現したい。
- ② 送り状・荷札発行の一元化
基幹システムで処理していた送り状・荷札発行を
一元化し管理したい
- ③ ハンディターミナルでの照合及び確認
出荷指示書の管理番号バーコードを荷札にも印字。
ハンディターミナルを利用し、出荷指示書と荷札
バーコードを照合したい。
- ④ 誤出荷の防止
伝票・商品・荷札セットの間違いない事を確認後、
荷物に伝票を貼付する流れにしたい。
- ⑤ 事務作業の軽減
基幹システムにて処理していた出荷システムを、
パッケージを利用する事により、社内電算作業の
軽減を図りたい。

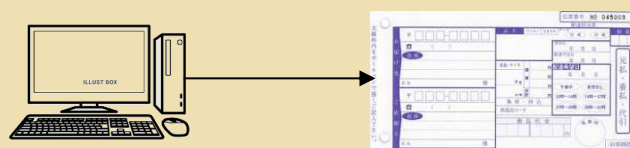
導入前フロー

基幹システムによるラベル発行



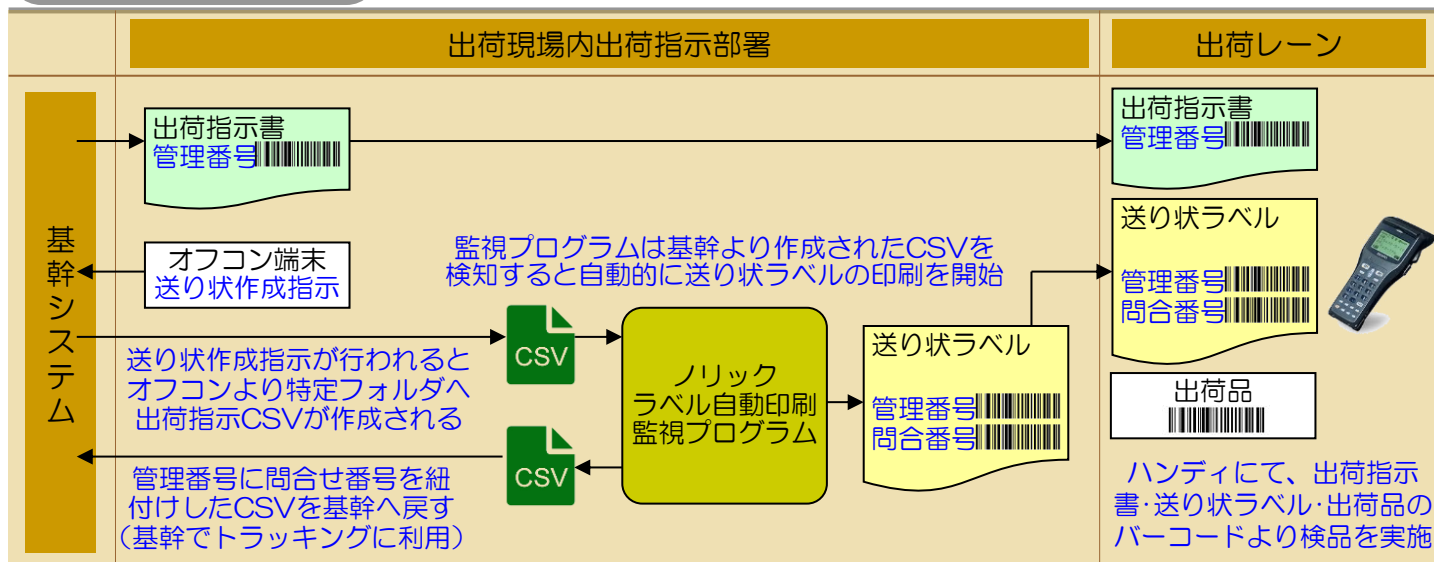
大手の2運送会社は基幹システム側でシールラベルによる運用を行っていました。

汎用アプリによる送り状発行



残りの18運送会社は、汎用の送り状発行システムを利用し、手入力にて複写式の送り状を作成。複数個口の場合、出荷個数分の荷札も印刷していました。問合せ番号の管理はこの方法では出来ず、不便さを感じていました。

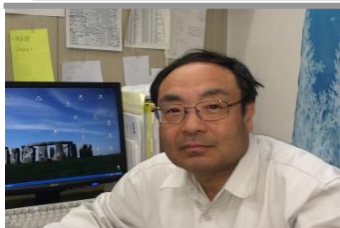
導入後フロー



導入の効果

1. 主要運送便5社を送り状レス化することにより、4時間掛かっていた送り状発行作業が1時間以内に短縮する事が可能となった。
2. 一部ドットプリンタで発行していた荷札も全てラベルプリンタで発行できるようになり、短時間で処理できるよう改善した。
3. 年間10件ほど発生していた荷札の貼間違いによる誤出荷が0件になった。
4. 伝票・商品・荷札のセット間違いが無くなり、伝票を荷物に貼付する事ができ、別に郵送していた通信費の削減が図れた。
5. ノリックの送り状レス出荷システムは、基幹システムとの連携も容易に行えるシステムだったので、当初想定していた費用より安価に導入する事が出来た。

お客様の声



当配送センターは日々約380件（繁忙期は約2倍）の全国配送を行っています。お客様のニーズにお応えすべく20社を超える運送便を使い分けしており、送り状発行だけで約4時間近くかかっていました。使用頻度の高い福山通運と佐川急便の2社は基幹オフコンシステムで送り状レス出荷を行っていたのですが、この方式を他の運送便にも広げようと考え、ノリックさんにご提案いただいた送り状レス出荷システムで実現可能か相談しました。

配送センター 今井課長様

お客様の声

■業務に精通したソフトだったのでシステム移行を即決断！



電算課 塩江課長様

佐川急便、福山通運の2社とは送り状レスのシステムを開始から十数年になります。その間、佐川急便様の現行システムに弊社用送り状レスのデータフォーマットが対応不可となった為、弊社システムを作り変えています。また、福山通運様も同様の理由で現行システムへ対応するため作り変えを検討中の頃、ノリックさんから提案を頂きました。既に送り状レスのシステムが動いているところで、ノリックさんのシステムへ切り換えるメリットを感じなかったのですが以下の通り考えが変わりました。

1. 福山通運の送り状レスシステムの刷新が急務
2. 発送業務省力化には、送り状レスの運送業者を増やしたい要望がある。運送業者のシステム担当者と打合せをし、専用プログラムを作成、テストが必要。基幹系でデータを一元管理する都合上弊社用に個別対応をお願いする事になり、打合せをしてみないと先が見えない。
3. 送り状レスのために、運送業者毎にマスターメンテナンスやシステム継続の作業が必要となり、業者が増えるとシステム要員へ負担が増加する。
4. 予てからの懸案で荷札、送り状の貼り間違い防止、及び添付する伝票の入れ間違い完全防止（重要課題）に有効な仕組み造りが待たれている。

これらの事を同時に解決できるという考えに至った結果、全てに満足の行くシステムが構築できました。ノリックさんの力をお借りして、今後更に改良を進めて行ければと考えています。

開
発
元

NORIC
株式会社ノリック

本 社 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町2丁目6番5号
TEL 06-4256-2514 FAX 06-4256-2517
関東オフィス 〒336-0015 さいたま市南区大田窪5-26-15-601
TEL 048-599-6895 FAX 048-699-6904
URL <http://www.noric.co.jp> E-mail toiawase@noric.co.jp